

2020年10月1日～11月30日

SDGs・エシカルチャレンジ 2020

秋の環境キャンペーン報告

【キャンペーン概要】

近年、世界的に「エシカル」という言葉が注目されています。「エシカル」とは「倫理的」という意味であり、「地域や環境、社会や人々」に配慮してモノやサービスを利用する消費のあり方を示す「エシカル消費」を実行しようという考えが強まっています。

また、SDGs(Sustainable・Development・Goals【持続可能な開発目標】)とは、2015年の国連総会で採択された、世界の全ての人々が人間らしい暮らしをつづけていくために2030年までに達成すべき17分野の目標のことで、

コープえひめでは今年度も「環境、エシカル消費、SDGs」をテーマに秋の環境キャンペーンを行いました。4つのチャレンジへのご参加で「coop 牛乳パックキッチンタオル」をプレゼントしました。

- ① エシカルマークを集めよう！
 - ② 食品ロスについて考えよう！
 - ③ SDGs・食品ロスクイズ
 - ④ ちびっ子でもできるエシカル&エコ
- (①～④のうち、参加できるもののみでも可。)



▲今年度のキャンペーンチラシ

【各チャレンジについての報告】

今年度は、共同購入・宅配 1,280 家族、店舗 460 家族、合計 1,740 家族がご参加くださりました。昨年度は共同購入・宅配 970 家族、店舗 372 家族、合計 1,342 家族のご参加だったため、前年+398 家族(129.6%)となりました。

①エシカルマークを集めよう！



「エシカルマークを集めよう！」には 920 家族がご参加くださりました。「COOPLAN マーク」や「エコマーク」、「コアノンスマイルスクールプロジェクトマーク」のご提出が特に多く感じられました。また、今年度はエシカルマークに関するお問い合わせも数件あがっており、昨年度よりもさらにエシカルマークに対する関心を持っている組合員さんが多くなったように感じられました。

②食品ロスについて考えよう！

challenge 2 食品ロスについて考えよう!
 ～環境にやさしい買い物チャレンジ～

本来食べられるのにもかかわらず廃棄される「食品ロス」。
 買い物時に私たちができることを考えて、実践してみましょう。

- 日本の年間食品ロス量 **643万トン**
- 国民1人当たり1日の食品ロス量「お茶碗約**1杯分**(約139g)」の食べ物が捨てられています。

日頃実践している「食品ロス対策」を記入された方の中から抽選で**20名様に** **1,000円** **商品割引券(1,000円分)プレゼント!**

「食品ロスについて考えよう！」には 1,171 家族がご参加くださりました。日頃実践している食品ロス対策として「余った料理をリメイクして食べる」、「野菜の芯や葉も捨てずに調理する」、「冷凍保存をする」、「曜日を決めて冷蔵庫の整理をする」などが多くあげられました。少数派の対策としては「野菜の皮や根を捨てずに集めておき、出汁をとる際に使用する」、「カレンダーに食材名や期限を記入して冷蔵庫の在庫管理をする」、「おかずをつぎ分けるときに 1 プレート式にすることで食べ残しを減らす」などがあがりました。多くのご家庭で食品ロス削減の対策がとられていることが分かりました。

challenge 2 食品ロスについて考えよう!
 ～環境にやさしい買い物チャレンジ～

①期間中、チャレンジできた項目に○印をつけてください。

買い物に行く前に冷蔵庫をチェックする。 (買い物リストを作り、必要なものだけ購入する。)	
その日使うものなどは、できるだけ手前から取る。 (値引き品購入で廃棄ロスを削減。)	
残さず使いきるようにする。 (献立や調理方法を工夫する。)	
表示に従って、正しく保存する。	

②日頃実践している「食品ロス対策」を教えてください。
 (例:食べ残しをしない、残った料理をリメイクする、冷蔵庫在庫を一掃の日を作る。)

③SDGs・食品ロスクイズ

challenge 3 SDGs・食品ロスクイズ

裏面にあるクイズの答えを、応募用紙にご記入ください。

SDGsについても生協と一緒に考えよう!

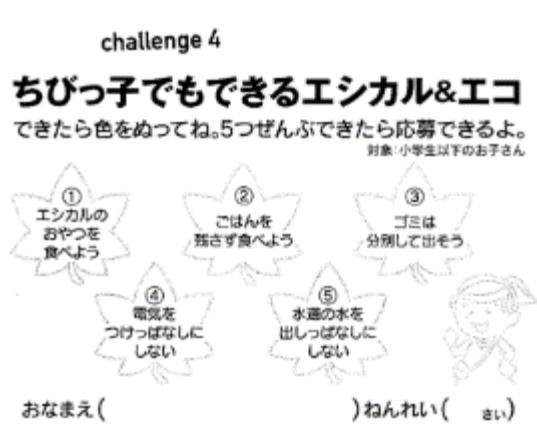
challenge 3 クイズの答えを□の中にご記入ください。
※ヒントは裏面にあります。
 ※全問正解した方のみ、応募者全員プレゼント対象となります。

Q1 SDGsには、**20**□□年までに達成すべき□□分野の目標を掲げています。

Q2 日本の年間食品ロス量は□□□万トン。1人当たり毎日「お茶碗約□杯分」の食べ物が捨てられています。

「SDGs・食品ロスクイズ」には 1,696 家族がご参加くださりました。SDGs についてや、日本における食品ロスの現状について多くの方に知ってもらう機会になったと思います。

④ちびっ子でもできるエシカル&エコ



「ちびっ子でもできるエシカル&エコ」には 227 家族がご参加くださりました。参加されたお子様には、エシカル消費やエコのために自分自身が何をできるのかということを知り、実践していただけたと思います。

【共同購入・宅配企画 紙パックリサイクル】

10月1回～10月4回の期間に、紙パック提出枚数を OCR 注文書にご記入いただき、リサイクル活動に参加していただきました。

4,243 家族がご参加くださり、合計 72,359 枚の紙パックが回収されました。回収された紙パックは、トイレロール・ボックスティッシュなどの家庭紙にリサイクルされます。



【愛媛の環境を守ろう！キャンペーン】

10月1日～11月30日の期間中、「コアノンロール」や「セフター」などの対象商品を 1 点ご購入につき 1 円を公益財団法人愛媛の森林基金「緑の募金」へ寄付させていただきます。

期間中の組合員さんのご利用で、93,456 円を「緑の募金」へ寄付することが出来ました。今回の寄付金は、環境を守る活動に使用されます。



【店舗委員会の取り組み】

今秋も、コープえひめの各店舗において、店舗委員会による環境イベントが行われました。エシカル商品があたるガラポン抽選会や紙パック回収活動、指定金額以上のお買い物でエコバッグやエシカル商品をプレゼントなど様々なイベントが各店舗で行われました。イベントに参加していただいた組合員さんに同時に「SDGs・エシカルチャレンジ2020」の応募用紙への記入をお願いした店舗もあり、来店された多くの組合員さんに SDGs やエシカル消費について知っていただく良い機会になったと思います。



▲コープ喜田村でのカラポン抽選会



▲コープ今治でのエシカル商品のプレゼント企画

【まとめ】

今年度の「SDGs・エシカルチャレンジ 2020」は、昨年度よりもかなり多くの組合員家族がご参加くださり、多くの方に SDGs やエシカル消費について考える機会を提供することが出来たと思います。また、今回のイベントとは別件になりますが、今年度コープえひめは「みんなで減らそうレジ袋チャレンジ(環境省)」の優秀賞をいただくことが出来ました。多くの組合員さんと職員の努力によって、このような結果が残せたのだと思います。今後も、さらに多くの組合員さんにエシカル消費について考え、実行していただくためにも、エシカル消費推進活動や環境活動により力をいれて取り組んでまいろうと思います。



▲「みんなで減らそうレジ袋チャレンジ」で優秀賞をいただきました。コープえひめではエコバッグの販売に力を入れました。